

平成29年度 事業計画の概要



JANSI活動の基本方針

JANSIのミッション

「日本の原子力産業界における、世界最高水準の安全性の追求(～たゆまぬ最高水準(Excellence)の追求～)を確実なものにするため、原子力事業者の自主的継続的安全性向上を牽引する」



ミッション達成のための取り組み

「安全性向上策の評価と提言・勧告及び支援」

(SA対策の評価・提言、等)

・・・・・・・・・・ 今後のさらなる安全性の確保、向上

「原子力施設の評価と提言・勧告及び支援」

(ピアレビューによる評価、等)

・・・・・・・・・・ 現在の安全性の確保、向上

「二本柱を支える基盤活動」

・・・・・・・・・・ 情報分析活動、人材育成など



平成29年度事業の基本的進め方

原子力発電所の再稼働が大きく進展することは期待できず、事業者においては、**依然として厳しい経営環境**にある。



重要優先課題を抽出し、当該課題には必要な資源配分を行うと共に、緊急度の低い活動の実施を先延ばしする等優先度を考慮することにより、資源の有効活用を図り、費用・要員の増加を極力低く抑える。

さらに、単なる先延ばしにとどまらず、業務の廃止等を含めた検討を行って継続してメリハリをつけて事業を実施していく。



平成29年度においては、

- **年度重点活動として、「原子力の安全性を高める活動」及び「社会から見た原子力リスクを低減する活動」の観点から3件を抽出**
- **規格・標準整備ほか諸活動の優先順位を見直し、当初案から活動費約1.5億円を削減**
- **要員についてもピアレビューの体制強化を図る一方で、他の各部要員の増加を必要最小限に絞り込み**
- **運営費についても諸経費など可能な部分を最大限削減**



平成29年度重点活動

(1)原子力発電所の安全性を高める活動

➤ピアレビューの質の向上と実施 → 5頁へ

➤発電所総合評価の実施 → 6頁へ

(2)『社会から見た原子力リスク』を低減する活動

➤再稼働発電所に対する支援

先行発電所と後続発電所のエキスパートによるウォークダウンとレビュー、

駐在員の派遣による支援

支援実績の再稼働ガイドラインへの反映

WANO-TCと連携した支援、海外エキスパートの知見の活用など



原子力施設評価関連活動(ピアレビュー)

➤ ピアレビューの質の向上と実施

- ◆ 3発電所のピアレビューを実施し、着実にピアレビューの質を向上
- ◆ INPO/OBによるコーチング、WANO教育プログラム等への参加、WANOピアレビューへの参加等及び継続的な訓練の実施と併せて、ピアレビューの質を向上
- ◆ エクセレンスガイドラインの継続的改訂など

➤ 関連する活動

- ◆ デザインインフォームドレビュー(DIR)、コーポレートピアレビュー(CPR)の導入検討
- ◆ メーカーピアレビューは8箇所計画など

➤ WANO同等性取得

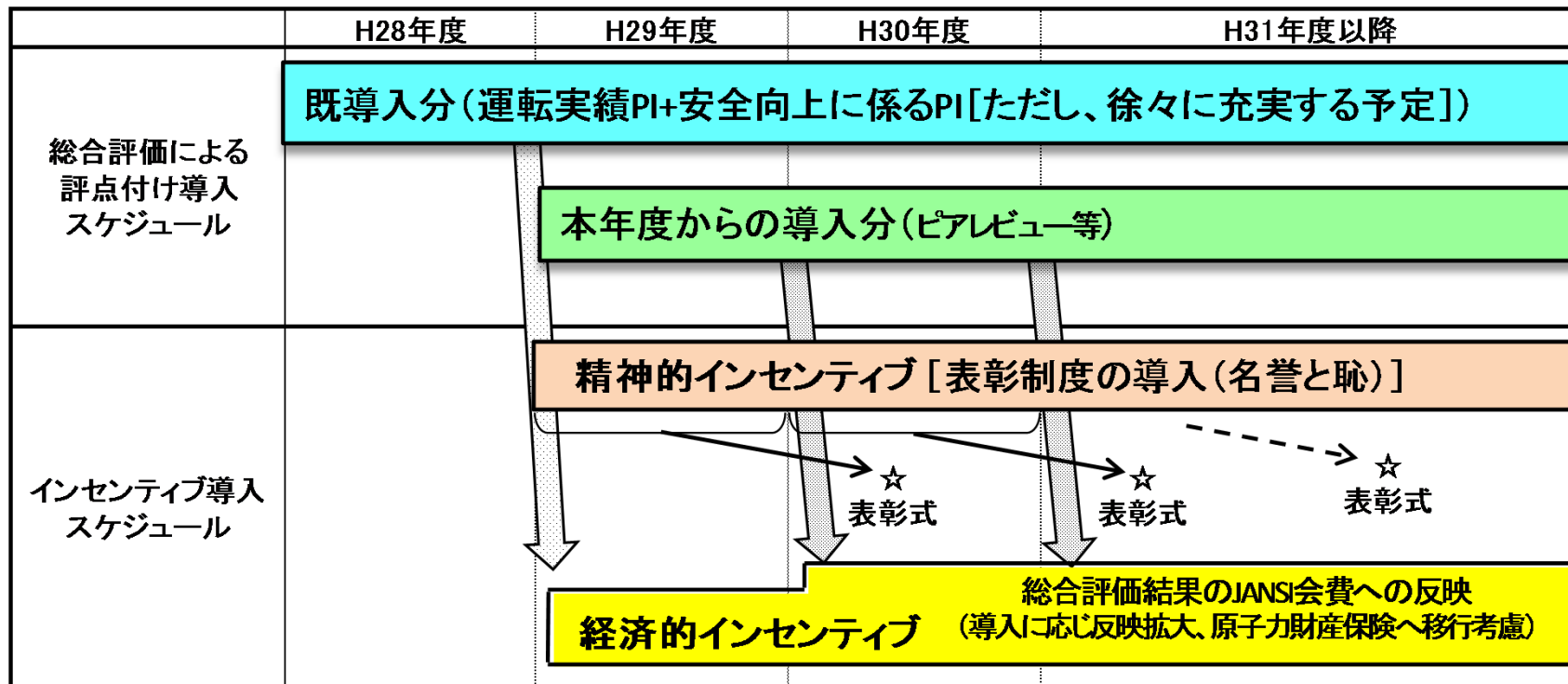
- ◆ WANOピアレビューとの同等性取得については、原子力発電所の再稼働の状況を確認しながら、WANO及び事業者と調整を行っていくものとする。



発電所総合評価システム

発電所総合評価システムの**本格運用を1年前倒し、H29年度より開始**

- ・ **ピアレビュー評価**を総合評価に取り込む仕組みを構築
- ・ 過酷事故対策等の**安全性向上策評価**を**気付事項**として総合評価に取込（1年前倒し）
- ・ **精神的インセンティブ**のための**情報収集を開始**
- ・ **経済的インセンティブの開始**（H28年度の総合評価をH29年度の会費に反映）



安全性向上活動

- シビアアクシデント(SA)対策の評価を継続し、4プラントを現地調査予定
- 2プラントの火災防護に係る特定テーマレビューを実施予定
- 安全性に影響する重要度の高い課題について安全性向上策の必要性・有効性等の検討を行い、必要に応じて提言・勧告を行う
- リスクマネジメント活動については、エクセレンスガイドライン(RMEG)を充実させるとともに、支援活動(内容を検討中)を実施する。
- JSARガイドラインについては、PWRの第1版を完成させるとともに、解説書(PWR)を作成する (JSAR:事業者自主安全評価書)



JANSIの主要活動の計画(その)

➤ 国際対応

海外機関との連携の充実を図り、信頼関係を構築するために、**国際連携室**を核として、JANSI全体の活動を戦略的に推進

国際アドバイザー委員会、**技術評価グループ**等の活用により、常に国際動向、新知見に触れることでエクセレンスを目指す

INPO、**WANO**との連携、その他の海外機関、専門家との連携

➤ OE情報の収集・分析・評価・活用

重要技術課題について**OE文書**を発行し、事業者の取り組みを支援、フォロー
PWR、BWRの**海外情報処理の統合**に向けたシステムの構築など

➤ 発電所等支援

再稼働発電所、**再処理施設**等への支援

連絡代表者(SR)を窓口とした支援に加え、**専門分野ごとの問合せ窓口(TCP)**を活用した支援を展開

個別テーマとして、**防災訓練**、**QMS**、**ヒューマンファクター分析**関連等への支援
安全文化アセスメントの実施、安全キャラバン等による安全文化醸成活動の支援など



【安全文化セミナーの様子】

【防災訓練アシスタンス
ビジットの様子】



JANSIの主要活動の計画(その)

➤ 事業者の人材育成

発電所長研修等のリーダーシップ研修の体系の充実と計画的実施
運転責任者判定、保全技量認定業務の確実な実施、継続的な改善
教育・訓練ガイドラインの策定や資格認定等を通じて力量向上に貢献

➤ JANSI職員の人材育成

要員計画及び育成計画の着実な実行

「人材検討協議会」(電力・メーカー)を通じて要員確保の調整を実施

力量管理の効果的な運用

コミュニケーション能力の向上に資する研修等の教育の充実

➤ その他基盤業務

自主ガイドラインの整備継続

学協会規格の整備・促進

原子力発電所の保全情報等のデータベースの充実

原子力産業界としての最適な規格・標準の整備体制の検討に参画(電事連大)

➤ 原子力規制委員会(NRA)対応

JANSIは、自主規制組織の意義・効果についての社会の理解を得てプレゼンスを高めるべく努力し、NRAとの適切な補完関係の構築に努める。

